

東日本大震災復興関係

入居式開催のお知らせ
〈災害公営住宅「大原住宅」が完成〉

町営大原住宅（女川駅北地区災害公営住宅：5 棟 145 戸）の入居を開始します。

当住宅は、女川町が UR 都市機構に建設要請を行った災害公営住宅[集合]（全 6 地区）のうちの 1 地区で、女川町（中心部）で運動公園住宅に次ぐ大規模集合住宅となります。

完成にあたり、2 月 26 日（日）に、女川町及び UR 都市機構の共催による入居式を開催いたしますので、下記のとおりご案内します。

※住戸内撮影ですが、2 月 18 日（土）の 12:00～13:00 であれば可能です。直接、4 号棟エントランスまでお越しください。

記

日 時 平成 29 年 2 月 26 日（日）
午前 10 時 00 分 入居式開始（終了予定時刻：午前 10 時 30 分頃）
※レプリカキーによる鍵引渡し式及びテープカットを実施します
出席者 女川町長、女川町議会議員
UR 都市機構 宮城・福島震災復興支援本部長 ほか
場 所 大原住宅敷地内

[住宅の特徴]

- ◎女川湾を望む眺望軸を考慮した街区配置
- ◎車椅子対応住戸ならびにペット共生住戸を配置、様々な生活スタイルに対応
- ◎共用スペースとして、コミュニティボックス（談話室等）を配置、入居者が共同で制作したスペインタイルを掲示
- ◎自然と調和する住棟色彩とし、バルコニー側は市松模様を基調としたデザインを取り入れ、サインは女川町の災害公営住宅の「テーマカラー」で自然と安心を表す「緑」を採用
- ◎なだらかに傾斜する敷地形状を生かしたリズム感のある景観を形成

○お問合わせは下記へお願いします。

女川町 生活支援課 課長 今村

電話 0225 (54) 3131 (代表)

UR 都市機構 宮城・福島震災復興支援本部女川復興支援事務所 住宅計画課 課長 佐藤

電話 0225 (54) 2811 (代表)

町営大原住宅（女川駅北地区災害公営住宅）の概要

構造・階数	: 鉄筋コンクリート造, 5 階建て, 4 棟（計画通知による）
間取り・戸数	: 2DK : 54 戸, 2LDK : 43 戸, 3DK : 34 戸, 3LDK : 9 戸, 車椅子用 2DK : 5 戸 計 145 戸
敷地面積	: 16,275.44 m ²
延床面積	: 10,539.74 m ² （附帯施設除く）
附帯施設	: コミュニティボックス・倉庫・トランクルーム・開閉器室・ポンプ室, バルコニー置場
駐車場	: 180 台（うち車椅子用 6 台）
駐輪場	: 72 台
トランクルーム	: 149 区画（一般用 : 145 区画, 共用 : 4 区画）

〔主なスケジュール〕

平成 24 年 3 月	女川町復興まちづくり推進パートナーシップ協定を締結
平成 24 年 5 月	東日本大震災における災害公営住宅の整備に係る基本協定締結
平成 24 年 7 月	女川町復興まちづくり事業協定
平成 26 年 5 月	女川駅北地区 災害公営住宅建設要請（機構法 14 条要請）
平成 27 年 6 月	女川駅北地区 女川町災害公営住宅整備事業 譲渡契約締結（議会議決）
平成 27 年 11 月	女川駅北地区 工事請負契約締結（鹿島建設株式会社・株式会社橋本店 J V）
平成 29 年 2 月	竣工（2 月入居開始）

配置図



参考

1. 女川町とUR都市機構の連携

女川町とUR都市機構は、協力して復興まちづくりを推進すべく、「女川町復興まちづくり推進パートナーシップ協定」※を平成24年3月1日付で締結し、離半島部を含めた町全体の復興に向け、復興計画のコーディネートや復興事業などを協力して進めています。

※平成24年3月1日付の記者発表資料をご参照ください。

2. 災害公営住宅(集合)への取り組み

女川町とUR都市機構は、平成24年5月11日付で「東日本大震災における災害公営住宅の整備に係る基本協定」を締結し、相互に協力して災害公営住宅の整備を進めています。

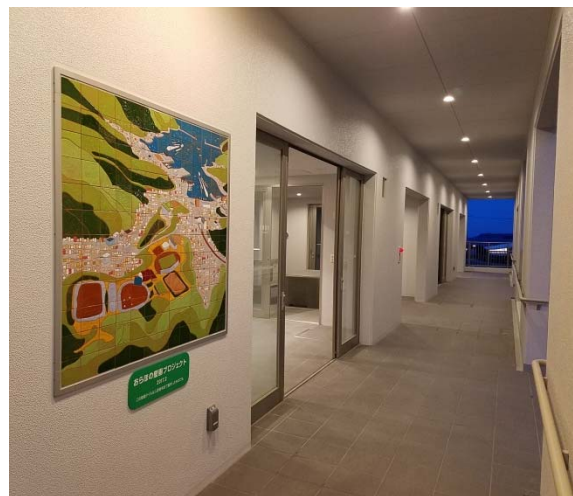
平成29年1月末時点の状況は以下のとおりです。

進 捗 状 況	地 区 名	戸 数	入居時期
建物完成	陸上競技場跡地(運動公園住宅)	200 戸	H26. 03
	荒立・大道①(堀切西住宅)	18 戸	H28. 10
	女川駅北(大原住宅)	145 戸	H29. 02
建設工事中	ずい道	86 戸	H29. 06
	西区	52 戸	H29. 12
	荒立・大道③	60 戸	H30. 01
計 6 地区		561 戸	—

なお、災害公営住宅(集合)のほか、災害公営住宅(戸建)の計22地区299戸についても、女川町、一般社団法人女川町復興公営住宅建設推進協議会、UR都市機構が一体となって供給を進めております。

3. コミュニティ形成支援(顔合わせ会とスペインタイル制作)

入居説明会にて、入居者相互の親睦を目的とした顔合わせ会を開催。共同作業でスペインタイルによる震災前の女川町中心部の姿を制作し、コミュニティボックスに設置。



案内図

町営大原住宅（女川駅北地区災害公営住宅）



地図使用承認©昭文社第 56G107 号

